



「ハッピーサークル」～水のある暮らしは当たり前？～

道徳 社会 総合（キャリア・国際理解・環

境)

※「ハッピーサークル」とは、安全な水があることで人々が貧困の悪循環から抜け出し、好循環の暮らしに変わることを意味しています。

- (1) ねらい ① 日本と途上国の水の使い方の違いを学ぶ。
② 「安全な水」を切り口にして、途上国で起きている問題について考える。

- (2) 対 者 • 小学5年生～中学3年生
• 教員研修、地域・保護者向けの講座も実施可能で
す。

- (3) 講 師 特定非営利活動法人 ウォーターエイドジャパン
(世界中のすべての人が安全な水とトイレを利用できる世界を目指して活動する国際協力 NGO
です。)

団体ウェブサイト <http://www.wateraid.org/jp>



授業の様子

- (4) 形 式 • 所要時間 1単位時間（土曜授業可）
• クラス単位、複数クラス、学年単位など希望に合わせます。
(複数の講師を同時に派遣することもできます。)

- (5) 内 容 出前授業例：1コマ45分の場合

- ① 導入（10分）
 - ウォーターエイドの紹介、講師自己紹介
- ② 活動1…私たちと水（10分）
 - 日本で何にどのくらい水を使っているかを、クイズを通して学ぶ。
 - 災害が起こって1日に25㍑(バケツ2.5杯分=普段使っている水の約10分の1)しか水が使えなくなったら、どのような工夫をするかをグループごとに考える。
- ③ 活動2…イコナンさんと水（20分）
 - マダガスカルに住むイコナンさんのストーリーを聞き、自分たちが参考にできることがあるかを考える。
 - イコナンさんが水を使えるようになったら、どんなことが起こるか想像して、ワークシートに記入する。
- ④ 問いかけ・まとめ（5分）
 - グループごとにどんな「ハッピーサークル」が出来上がったか発表する。

使用するスライドの一部

※ 時間配分や難易度等については、学校と相談の上、ご要望に合わせます。

- (6) 費 用 「無 料」

- ・授業終了後、児童・生徒からの感想文の送付をお願いします。

(7) 申し込み 実施日2ヶ月位前まで ⇒ホームページトップページ「申し込みフォーム」から
講師の方には、当本部から連絡を取らせていただきます。
詳細は、講師の方と学校担当者で打ち合わせてください。